

稲垣裕之

競輪選手

諦めずに進むこと



稲垣裕之氏 プロフィール

1977年7月28日生まれの39歳。西舞鶴高校卒業後、海上自衛隊に入隊。その後、自衛隊で勤務をしながら日本競輪学校を受験し、2000年にみごと合格。同校に第86期生として入校。2001年8月にデビュー。2016年10月の寛仁親王牌・世界選手権記念トーナメントでG1レース初優勝を飾る。

今回は、日本競輪選手会京都支部に所属し、日本を代表する競輪選手として活躍されている稲垣裕之さんをお迎えしました。競輪選手という職業に就きたいと思った意外なきっかけや、決して簡単ではなかった夢の実現までの道のりなどを伺いました。

自転車にのめり込んだ高校時代

市長 G1レース(寛仁親王牌)の優勝おめでとうございます。

稲垣さん (以下敬称略) ありがとうございます。

市長 まず聞きたいのが、舞鶴にいて競輪は身近なスポーツではありませんが、どうしてプロの競輪選手になりたいと思われたのですか。

稲垣 高校2年生のとき、自転車に興味を持ったことからです。家が東の行永だったので、西舞鶴高校までは皆と同じように電車で通学していましたが、ある日、電車に乗り遅れて、遅刻したくない一心で自転車をこいで行ったら学校に間に合っただけです。

市長 電車よりも早い。なぜ急に「自転車に興味を持ったのですか。

稲垣 自分自身がエンジンで、頑張っただけでそれだけ速く走れるという単純な仕組みに興味を持ちました。当時はとにかく遠回りしたり峠から行ったりと自転

車に乗りまわっていました。

市長 親や先生からではなく、自分の方向性を見出したということですね。これまでの対談では、中学生の頃に目標を持つ人が多いのですが、稲垣さんは高校の時ですか？

稲垣 自転車はそうです。でも僕は、小さい頃から何でもやりたがる方で、競輪の選手までにロッキーマンの映画を見てプロボクシングの選手や中学の時はオペラ歌手、棋士にもなりたいたっていったので「競輪選手になる」と言った時に親は「また始まったか…」といった反応でした。

市長 なりたいものがたくさんあったんですね(笑)。私は市内の中学2年生と話をする機会を持っているのですが、目標は変わっていくから常に何かを目指して努力してほしいと言っています。例えば、プロ野球選手になりたいという目標を立てて頑張ったけど無理だったら違う目標を立てればいい。でも日々、何の目標もなく過ごすのは駄目だと。小さい頃は「お菓子屋さんにになりたい」とか言うのに、大きくなるとだんだん言わなくなる。なぜかな。

稲垣 言っと友達に冷やかされたりするので言いつらいというのもあるのかもしれませんがね。自由に言える環境が大切だと思います。高校の進路指導では「競輪選手」と言ったら「そんなばかな…」

厳しい勝負の世界

市長 夢を諦めずに念願の競輪選手にされたわけですね。選手は実力でランクがS級とA級に分けられているようですが、選手は何人いるのですか？

稲垣 約2,300人です。各級ごとに3班あり、一番上のクラスにS級S班があります。

市長 稲垣さんはS級S班ですよ。2,300人もいる中から、S班の9人に入るのにはほんとにすごい。スター中のスターですね(笑)。成績によっては入れ替わりがあるんですか？

稲垣 あります。半年毎にA級の成績下位の30人はクビになり、戻ることはい

新春対談



多々見良三

舞鶴市長

と云われました(笑)。進学クラスでもあったので、学校も想定外だったんでしょうね。あまりに大きな目標や想定外の目標が出てくると、周りは応援するといつよりも、よく考えろといつことなるのかも知れませんね。

市長 目標を口に出すことは大切で、自分を奮い立たせるという効果があると思います。どんな夢でも、それを叶えるように大人は動いてほしいですね。しばらくやってみると子どもは自分に向いていなければ分かります。もしその夢が難しいのなら、大人はその子の特性にあった次の方向性をアドバイスしてほしいと思います。稲垣さんは反対を押し切って競輪選手を目指したのですか？

稲垣 はい。高校3年生の時に、競輪学校の試験を受けましたが、規定タイムには届かず不合格「やっぱりプロの世界は難しい」と実感させられました。それで一旦、自分の将来を考えたところ自衛隊に入隊し仕事に専念していましたが、当時の競輪学校の年齢制限が23歳でそれが近付いてきた時「挑戦せずに諦めてもいいのか」と思い、20歳の頃にもう一度真剣にプロを目指そうと思ったんです。

市長 一度は断念するつもりだったんですね。また挑戦することについてご両親は何か言われましたか？

稲垣 それまでは猛反対されていましたが、入隊して2年目に受けた1次試験が受かった時に初めて本気なんだと認めてもらったと言っか…。22歳の時3度目の受験で、合格することができました。あの時に諦めたら一生後悔していただ



G1で初優勝した稲垣選手(左から3人目)